

HDMIオーバーIPエクステンダキット - 1080p



*実際の製品は写真と異なる場合があります。

ユーザマニュアル

SKU#:ST12MHDLAN2K & ST12MHDLAN2R

最新の情報と仕様については、
www.startech.com/ST12MHDLAN2K をご覧ください。
www.startech.com/ST12MHDLAN2R でご確認ください。

マニュアル改訂日: 10/23/2019

準拠ステートメント

FCC 準拠ステートメント

本製品はFCC規則パート15のAクラスデジタルデバイスに対する制限を遵守しているかを確認する試験にて、その準拠が証明されています。これらの制限は、住居環境に設置された場合に有害な干渉から合理的に保護するために設計されています。本製品は無線周波数エネルギーを発生、使用、放出し、指示に従って取り付けられ、使用されなかった場合は、無線通信に有害な干渉を与える可能性があります。一方、特定の取り付け状況では、干渉が起きないという保証を致しかねます。本製品がラジオやテレビ電波の受信に有害な干渉を発生する場合（干渉の有無は、製品の電源を一度切り、改めて電源を入れることで確認できます）、次のいずれかまたは複数の方法を試すことにより、干渉を是正することをお勧めします：

- ・ 受信アンテナの向きを変えるか、場所を変える。
- ・ 製品と受信アンテナの距離を離す。
- ・ 受信アンテナが接続されているコンセントとは異なる回路を使うコンセントに本製品を接続する。
- ・ 販売店か実績のあるラジオ/テレビ技術者に問い合わせる。

カナダ産業省準拠ステートメント

本クラスAデジタル機器はカナダのICES-003に準拠しています。

CAN ICES-3 (A)/NMB-3(A)

商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルの使用

本書は第三者企業の商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルをウェブサイト上で使用する場合がありますが、これらは一切 StarTech.com とは関係がありません。これらの使用は、お客様に製品内容を説明する目的でのみ行われており、StarTech.com による当該製品やサービスの保証や、これら第三者企業による本書に記載される商品への保証を意味するものではありません。本書で直接的に肯定する表現があったとしても、StarTech.com は、本書で使用されるすべての商標、登録商標、サービスマーク、その他法律で保護される名称やシンボルは、それぞれの所有者に帰属することをここに認めます。

カリフォルニア州向け

 **警告: 癌および生殖への危害**

www.P65Warnings.ca.gov

安全に関する注意事項

安全対策

- 電源が入っている状態の製品および/または電線の終端処理を行わないでください。
- 製品の設置および/または取り付けは、使用地域の安全ガイドラインおよび建築基準に従い、有資格の専門業者が行うようにしてください。
- ケーブル(電源ケーブルと充電ケーブルを含む)は、適切な配置と引き回しを行い、電気障害やつまづきの危険性など、安全上のリスクを回避するようにしてください。

目次

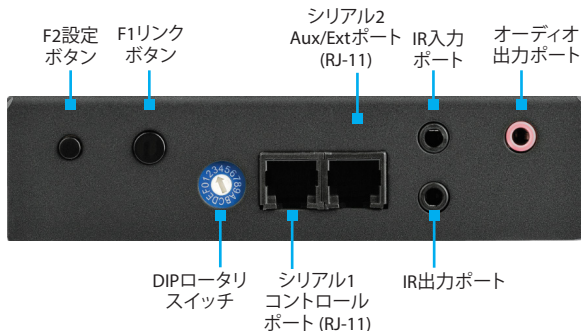
準拠ステートメント	1
安全に関する注意事項.....	3
製品図	6
トランスミッタ フロントビュー	6
トランスミッタリアビュー	6
レシーバ フロントビュー	7
レシーバリアビュー	7
製品情報	8
パッケージの内容 (ST12MHDLAN2K)	8
パッケージの内容 (ST12MHDLAN2R)	8
動作環境および使用条件	9
設定手順	10
オプションの設定手順	11
3.5mmオーディオ ソースを使用する	11
デバイスをGigabit LANネットワークへ接続する.....	11
RJ-11 - RS-232アダプタを使用する.....	12
IRレシーバとIRブラスタを設定する	13
エクステンダを取り付ける	14
ゴム足を取り付ける	15
設定	16
ロータリDIPスイッチ	16
シリアル1コントロール ポート	16

オーディオ埋め込みスイッチ	16
機能ボタン	17
システムを再起動する	18
StarTech.comウォール コントロール アプリ	19
一般的な操作とオペレーション	19
ソフトウェアのインストール手順.....	20
トランスミッタとレシーバをソフトウェアに接続する.....	21
IPアドレスおよびサブネット マスクを変更する.....	22
リモート ディスプレイをビデオ ソース間で切り替える.....	24
ビデオ ウォール用にリモート ディスプレイを設定する.....	26
ビデオ テアを調整する.....	33

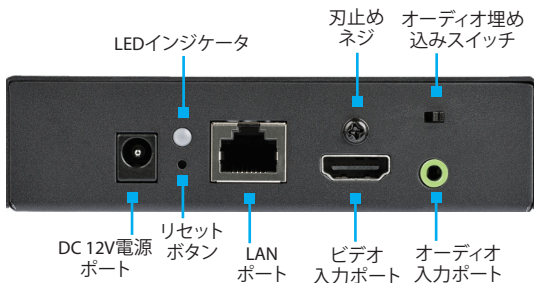
製品図

実際の製品は写真と異なる場合があります。

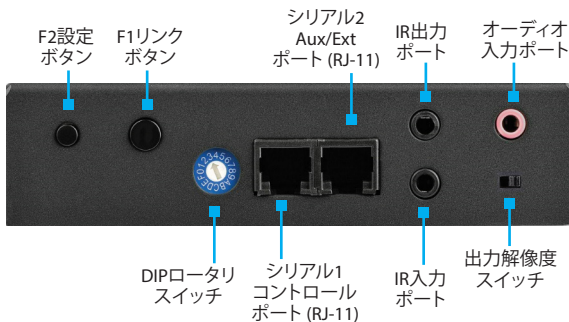
トランスミッタ フロントビュー



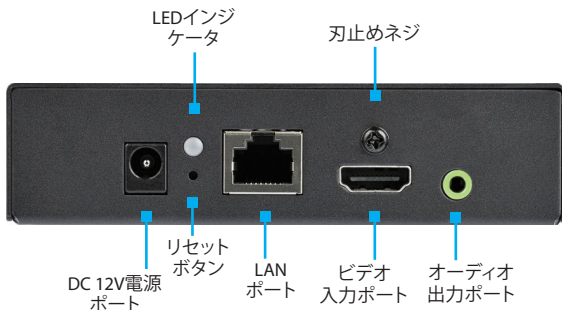
トランスミッタ リアビュー



レシーバフロントビュー



レシーバリリアビュー



製品情報

パッケージの内容 (ST12MHDLAN2K)

- ・ HDMIトランスミッタ x 1
- ・ HDMIレシーバ x 1
- ・ ユニバーサル電源アダプタ (NA/ EU/UK/ANZ規格対応) x 2
- ・ ハードウェア キット x 1
 - ・ 取付用ブラケット x 2
 - ・ 取付用ネジ x 8
 - ・ HDMI刃止めネジ x 2
 - ・ プラスチック製プラスチックドライバー x 1
- ・ CAT5ケーブル x 1
- ・ RJ-11 - RS-232アダプタ x 2
- ・ RJ-11ケーブル x 2
- ・ IRブラスター x 1
- ・ IRレシーバ x 1
- ・ ゴム足パッド x 8
- ・ ユーザマニュアル x 1

パッケージの内容 (ST12MHDLAN2R)

- ・ HDMIレシーバ x 1
- ・ ユニバーサル電源アダプタ (NA/ EU/UK/ANZ規格対応) x 1
- ・ ハードウェア キット x 1
 - ・ 取付用ブラケット x 2
 - ・ 取付用ネジ x 8
 - ・ HDMI取付用ネジ x 1

- ・プラスチック製プラスドライバー x 1
- ・CAT5ケーブル x 1
- ・RJ-11 - RS-232アダプタ x 1
- ・RJ-11ケーブル x 1
- ・IRブラスター x 1
- ・IRレシーバ x 1
- ・ゴム足用パッド x 4
- ・ユーザマニュアル x 1

動作環境および使用条件

最新のシステム要件は、www.startech.com/ST12MHDLAN2K または www.startech.com/ST12MHDLAN2R でご確認ください。

設定:

- ・プラスドライバー
- ・筆記用具
- ・水準器

ディスプレイ:

- ・HDMIディスプレイ x 1 (各HDMIレシーバにつき)

デバイス:

- ・HDMIビデオ ソース x 1 (各HDMIトランスミッタにつき)

取付手順

1. **HDMIビデオソース デバイス**(例: コンピュータ)と**HDMIディスプレイ デバイス**を希望する場所に設置します。
2. **HDMIトランスミッタ**を手順1で設定した**HDMIビデオソース**の近くに設置します。
3. **HDMIケーブル**を**HDMIビデオソース デバイス**と**HDMIトランスミッタ**背面の**ビデオ入力ポート**に接続します。

注記: ロック式HDMIケーブルを使用する場合は、プラスドライバーでビデオポート上のネジを取り外します。HDMIケーブルをHDMIトランスミッタ背面のビデオ入力ポートに接続して、刃止めネジをネジ穴に差し込みます。プラスドライバーで刃止めネジを締めます。きつく締めすぎないようにしてください。

4. **HDMIレシーバ**を手順1で設定した**HDMIビデオ ディスプレイ デバイス**の近くに設置します。
5. **HDMIケーブル**を**HDMIレシーバ**背面の**ビデオ出力ポート**と**HDMIビデオ ディスプレイ デバイス**に接続します。

注記: 追加でHDMIレシーバ(別売)を接続するには、手順5を繰り返します。

6. **CAT5e/CAT6ケーブルをHDMIトランスミッタ背面のLANポートに接続します。**
7. **CAT5e/CAT6ケーブルのもう一方の端をHDMIレシーバ背面のLANポートに接続します。**
注記: ネットワーク機器 (ルータやスイッチなど) の間を通り配線しないようにしてください。
8. **ユニバーサル電源アダプタをHDMIトランスミッタとHDMIレシーバのDC 12V電源ポートとAC電源コンセントに接続します。**

オプションの設定手順

3.5mmオーディオソースを使用する

オーディオ入力ポート (トランスミッタ) / オーディオ出力ポート (レシーバ):

HDMI信号と選択したオーディオソースに埋め込める3.5mmオーディオソースを追加する場合:

1. **3.5mmオーディオケーブルをHDMIトランスミッタのオーディオ入力ポートに接続して、もう一方の端をオーディオソースデバイスに接続します。**
2. **3.5mmオーディオケーブルをHDMIレシーバのオーディオ出力ポートに接続して、もう一方の端を出力デバイスに接続します。**

オーディオ出力ポート(トランスミッタ)/オーディオ入力ポート(レシーバ):

オーディオ信号をHDMIレシーバからHDMIトランスミッタに送信する場合:

1. **3.5mmオーディオケーブル**をHDMIレシーバのオーディオ入力ポートに接続して、もう一方の端をオーディオデバイスに接続します。
2. **3.5mmオーディオケーブル**をHDMIトランスミッタのオーディオ出力ポートに接続して、もう一方の端を出力デバイスに接続します。

デバイスをGigabit LANネットワークへ接続する

HDMIトランスミッタとHDMIレシーバは、Gigabit LANを使用して、ビデオウォール、ポイント・ツー・マルチポイント、またはポイント・ツー・ポイントの構成で使用することができます。

1. **CAT5e/CAT6ケーブル**をHDMIトランスミッタのLANポートに接続します。
2. **CAT5e/CAT6ケーブル**のもう一方の端をGigabit LAN/ハブ、ルータまたはスイッチに接続します。
3. **CAT5e/CAT6ケーブル**をHDMIレシーバのLANポートに接続します。
4. **CAT5e/CAT6ケーブル**のもう一方の端をGigabit LAN/ハブ、ルータまたはスイッチに接続します。

注記:ルータはIGMPスヌーピングに対応している必要があります。ネットワークスイッチまたはルータの説明書でIGMPスヌーピングへの対応を確認してください。

5. **ビデオソースの画像がHDMIレシーバに接続したディスプレイデバイス上に表示されていることを確認**します。

RJ-11 - RS-232アダプタを使用する

RJ-11 - RS-232アダプタを使用すると、**シリアル デバイス**を**HDMIトランスミッタ**または**HDMIレシーバ**のいずれかに接続することができます。

1. **RJ-11ケーブル**を**HDMIトランスミッタ**または**HDMIレシーバ**のいずれかの**シリアル2 Aux/Extポート (RJ-11)**に接続します。
2. **RJ-11ケーブル**のもう一方の端を**アダプタ**の**RJ-11ポート**に接続します。
3. **アダプタ**の**RS-232コネクタ**を**シリアル デバイス**の**RS-232ポート**に挿し込みます。

注記:アダプタのRS-232コネクタをシリアル デバイスに接続するには、追加でシリアルケーブルまたはアダプタが必要になる場合があります。

IRレシーバとIRブラスタを設定する

IRレシーバと**IRブラスタ**は、**HDMIトランスミッタ**または**HDMIレシーバ**のいずれかに接続することができます。

HDMIトランスミッタ:

IR信号を受信するデバイスが**HDMIレシーバ側**にある場合:

1. **IRレシーバ**を**HDMIトランスミッタ**前面の**IR入力ポート**に接続します。
2. **IRレシーバ**を**IRリモートコントロール**を向ける方向に配置します。

IR信号を受信するデバイスが**HDMIトランスミッタ**側にある場合:

1. **IRブラスタ**を**HDMIトランスミッタ**前面の**IR出力ポート**に接続します。
2. **IRブラスタ**を**HDMIビデオソース**の**IRセンサ**の正面に配置します (**IRセンサ**の配置に関する詳細は、**HDMIビデオソース**のマニュアルを確認してください)。

HDMIレシーバ:

IR信号を受信するデバイスが**HDMIレシーバ**側にある場合:

1. **IRブラスタ**を**HDMIレシーバ**の**IR出力ポート**に接続します。
2. **IRブラスタ**をデバイスの**IRセンサ**の正面に配置します (**IRセンサ**の配置に関する詳細は、**ビデオソース**のマニュアルを確認してください)。

IR信号を受信するデバイスが**HDMIトランスミッタ**側にある場合:

1. **IRレシーバ**を**HDMIレシーバ**の**IR入力ポート**に接続します
2. **IRレシーバ**を**IRリモートコントロール**を向ける方向に配置します。

エクステンダを取り付ける

注記:StarTech.com は、本製品の取り付けで生じたいかなる損傷に対しても一切責任を負いません。

取り付け前に、本製品と一緒に使用するすべてのデバイスでポート互換性をテストしてください。

1. **HDMIトランスミッタ**および/または**HDMIレシーバ**の側面にある**取付用ネジ穴**(各側面に2つ)に**取付用ブラケット**を合わせます。

注記:取付用ブラケットを設置した時に大きな丸い取付用ネジ穴が下になるようにします。こうすることで取付用ブラケットを壁に正しく取り付けられます。

2. **取付用ネジ**を取付用ブラケットを介して**HDMIトランスミッタ**および/または**HDMIレシーバ**の側面にある**取付用ネジ穴**に挿入します。
3. **プラスドライバー**で4つの**取付用ネジ**を締めます。きつく締めすぎないようにしてください。
4. **HDMIトランスミッタ**および/または**HDMIレシーバ**を取り付ける前に、取り付け面が**HDMIトランスミッタ**および**HDMIレシーバ**の重量を支えられるか確認します。**HDMIトランスミッタ**および/または**HDMIレシーバ**は壁の間柱に取り付けることを推奨します。
5. **取付用ブラケット**の**取付用ネジ穴**の間隔を測ります。

6. **水準器と筆記用具**を使用して、取り付け面に、先ほど測った2つの**取付用ネジ穴**の位置に印を付けます。
7. **プラスドライバー**で、2つの**取付用ネジ**を手順6で印を付けた**取付用ネジ穴**の位置に取り付けます。ネジ頭と壁面の間に必ず隙間を空けてください。
8. **取付用ブラケット**の大きな取付穴を**取付用ネジ**に合わせます。
9. **HDMIトランスミッタ**および/または**HDMIレシーバ**を下方にスライドさせて**取付用ブラケット**を固定します。

ゴム足を取り付ける

1. ゴム足から裏当てを剥がします。
2. 各ゴム足のパッドをHDMIトランスミッタとHDMIレシーバの底部分にある印に合わせます。
3. ゴム足のパッドを押してHDMIトランスミッタとHDMIレシーバの底部分に取り付けます。

設定

ロータリDIPスイッチ

HDMIトランスミッタとHDMIレシーバのロータリDIPスイッチ

は、通信先デバイスと同じ位置/チャンネルに設定する必要があります。

- ・ **プラスチック製のドライバー** (付属品) のマイナス面を使って、**ロータリDIPスイッチ**の位置を調整します。

シリアル1コントロールポート

シリアル1コントロールポートには、StarTech.comでは現在対応していません。**HDMIトランスミッタ**および**HDMIレシーバ**の設定では、StarTech.comのウォールコントロールアプリを推奨します。

出力解像度スイッチ

出力解像度スイッチは、**HDMIレシーバ**にあり、次の2つの設定があります。

ネイティブ:

ビデオ出力を最大1080p @ 60Hz に設定します。

スケーリング:

ビデオ出力を最大720p @ 60Hz に設定します。

オーディオ埋め込みスイッチ

オーディオ埋め込みスイッチは、**HDMIトランスミッタ**にあり、次の2つの設定があります。

埋込み式:

オーディオ入力ポートから外部オーディオをHDMI信号に埋め込みます。

HDMI:

HDMI信号のオーディオを使用します。

機能ボタン

F1 (リンク) および **F2 (設定)** 機能ボタンを使用すると、次の機能を実行することができます。

HDMIトランスミッタ/HDMIレシーバのF1ボタン

ビデオのリンク/リンク解除:

- ・ F1ボタンを1回押します。

出荷時設定リセット:

1. **HDMIトランスミッタまたはHDMIレシーバの電源を切ります (ユニバーサル電源アダプタをHDMIトランスミッタまたはHDMIレシーバから取り外します)。**
2. **F1ボタンを長押しします。**
3. **HDMIトランスミッタまたはHDMIレシーバに電源を入れます (ユニバーサル電源アダプタをHDMIトランスミッタまたはHDMIレシーバから挿し込みます)。**
4. **F1ボタンから手を放して17秒待ちます (電源/リンクLEDが緑と青に点滅します)。**
5. **HDMIトランスミッタまたはHDMIレシーバに電源をもう一度入れます。**

HDMIトランスミッタ/HDMIレシーバのF2ボタン

グラフィック/ビデオ モード:

- ・ F2ボタンを1秒間長押しします。

アンチ・ディザ調整モード:

- ・ F2ボタンを3秒間長押しします。

EDIDコピー (HDMIレシーバのみ):

1. HDMIトランスミッタまたはHDMIレシーバの電源を切ります (ユニバーサル電源アダプタをHDMIトランスミッタまたはHDMIレシーバから取り外します)。
2. F2ボタンを長押しします。
3. HDMIトランスミッタまたはHDMIレシーバに電源を入れます (ユニバーサル電源アダプタをHDMIトランスミッタまたはHDMIレシーバから挿し込みます)。
4. F2ボタンから手を放して12秒待ちます (ネットワーク動作状況LEDが黄色に点滅します)。

システムを再起動する

1. HDMIトランスミッタまたはHDMIレシーバに電源を入れたまま、先の尖ったピンのようなもので凹んでいるリセットボタンを押します。
2. 凹んだリセットボタンをHDMIトランスミッタまたはHDMIレシーバが再起動するまで押し続けます。

StarTech.comウォール コントロール アプリ 一般的な操作とオペレーション

画面の右上隅に表示されるメニューアイコンをクリックすると、あらゆる画面からStarTech.comウォール コントロール アプリにアクセスできます。

メニューからは下記の各オプションにアクセスできます。

Help (ヘルプ):アプリケーション操作に関する情報や説明を表示します。

Device Search Mode (デバイス検索モード):ソフトウェアが動作しているネットワークを介したトランスミッタとレシーバの検索方法を定義することができます。トランスミッタとレシーバの検索方法は、マルチキャストDNSまたはターゲットIPのいずれかの方法を選択することができます。

Multicast DNS (マルチキャストDNS):デフォルトの設定であり、ネットワークを介してデバイスを自動的に検索します。

Target IP (ターゲットIP):高度な設定であり、ソフトウェアが検索するためのリモートデバイスのIPアドレスを指定することができます。異なるサブネットやIPアドレス範囲のディスプレイやトランスミッタに複数の設定を行いたい場合に便利なオプションです。

Clear All Settings (すべての設定をクリア):ソフトウェアの設定をデフォルトに戻します。

Demo Mode (デモモード):仮想環境で複数のトランスミッタとレシーバを使い仮想設定を構築することができます。トランスミッタとレシーバを物理的に接続することなく、ソフトウェアの機能をテストできます。

ソフトウェアのインストール手順

HDMI配線キットにはビデオコントロール用ソフトウェアが付属しています。このソフトウェアを使用すれば、IPビデオ配信やビデオウォール設定の管理が簡単にできます。ソフトウェアは、iOSおよび/またはAndroidデバイスで利用可能です。

1. Webブラウザで www.startech.com/ST12MHDLAN2K を開きます。
2. **Overview (概要)** タブから、ご利用のデバイスに対応するストアへのリンクを選択します。
3. StarTech.comウォールコントロールアプリをダウンロードします。

トランスミッタとレシーバをソフトウェアに接続する


注記:アプリケーションが正常に動作するためには、ルータがIGMPスヌーピングに対応している必要があります。ネットワークスイッチまたはルータの説明書でIGMPスヌーピングへの対応を確認してください。

1. **StarTech.com ウォールコントロール**アプリをインストールしたデバイスが、トランスミッタとレシーバと同じネットワークに接続されていることを確認します。
2. **StarTech.comウォールコントロール**のアイコンを選択します。

3. デバイス画面にアプリが開き、自動的にデバイス画面にネットワークに接続しているすべてのトランスミッタとレシーバを表示します。

注記: デバイス画面の右上にあるリフレッシュボタンを選択すると、デバイスを再検索できます。

IPアドレスおよびサブネット マスクを調整する

1. デバイス画面で、トランスミッタまたはレシーバをクリックします。
2. デバイス プロパティ画面が表示されます。
3. 設定したいIPアドレス横に表示されている編集  アイコンをクリックします。
4. ネットワーク設定画面が表示されます。
5. 静的 ボタン、IPアドレスおよびサブネット マスクフィールドが表示されます。
6. 画面のキーボードを使用して、デバイスのIPアドレスとサブネット マスクを入力します。

または

DHCPを選択すると、ネットワークが自動的に残りのネットワーク デバイスの範囲内でIPアドレスとサブネット マスクをデバイスに割り当てます。

注記: IPアドレスとサブネット マスクを自動的に割り当てるには、DHCPを有効にしておく必要があります。

7. **保存** ボタンをクリックして、新しいIPアドレスとサブネットマスクを選択したデバイスに適用します。

または

キャンセル ボタンをクリックして、変更内容を破棄して**デバイスプロパティ**画面に戻ります。

リモート ディスプレイをビデオソース間で切り替える

1. **デバイス**画面で、画面下方のツールバーにある**スイッチ** ボタンを選択します。
2. **スイッチ**画面が表示されます。
3. 接続しているレシーバとトランスミッタの一覧が表示されます。各レシーバ用に現在選択されているトランスミッタは黄色で強調表示されています。

注記:レシーバがビデオウォールの一部になっている場合は、ビデオウォールの構成とレシーバの位置を表示するボタンと共に表示されません。

4. **ビデオソース**を割り当てる、あるいは**ビデオソース**を変更する場合には、表示したいレシーバの横に表示されているトランスミッタを選択します。
5. トランスミッタの表示が黄色に変わり、リモート ディスプレイの**ビデオソース**が切り替わります。

注記:ビデオウォールを構成するレシーバに変更を加えると、当該ディスプレイはビデオウォール構成の一部ではなくなります。

ビデオウォール用にリモートディスプレイを設定する

1. **デバイス**画面で、画面下方のツールバーにある**ウォール**ボタンを選択します。
2. **ウォール**画面が表示されます。
3. **+アイコンを選択すると**、ビデオウォール画面が表示されます。
4. **ウォール名**フィールドを選択します。画面のキーボードを使用して、新しいビデオウォールの構成の名前を入力します。
5. **行**を選択します。ドロップダウンリストから、ビデオウォールの構成の行数を選択します。
6. **列**を選択します。ドロップダウンリストから、ビデオウォールの構成の列数を選択します。

注記: **キャンセル** ボタンをクリックすると、ビデオウォールの構成を追加しないまま**ウォール**画面に戻ります。

7. **次へ** ボタンを選択します。前の画面で選択した行数と列数のビデオウォールディスプレイが表示されます。ビデオウォールディスプレイでは、接続しているレシーバをビデオウォールディスプレイ内の各レシーバの位置に関連付けることができます。
8. ビデオウォールディスプレイのレシーバ位置を選択します。**レシーバを選択する画面が表示されます。**
9. 接続しているレシーバの一覧からレシーバを選択します。
または
キャンセル ボタンをクリックして、前の画面に戻ります。

10. レシーバを選択すると、ビデオウォールディスプレイに黄色で表示されます。
11. **名前**フィールドには、**ビデオウォール**画面で入力した**ウォール名**がデフォルトで表示されます。**名前**フィールドを選択すると、**ウォール名**を上書きすることができます。
12. 各画面でレシーバ名を表示させたい場合は、**画面上にデバイス名を表示する**スイッチを選択します。
13. (オプション) **ベゼル補正**を選択すると、ディスプレイ上のイメージサイズを変更して、より自然でスムーズな表示にすることができます。
14. **ベゼル補正画面が表示されます。**
 - **ScreenX**: ディスプレイ幅をミリメートル(mm)で調整することができます。
 - **ScreenY**: ディスプレイ高さをミリメートル(mm)で調整することができます。
 - **DisplayX**: ディスプレイ幅合計をミリメートル(mm)で調整することができます。
 - **DisplayY**: ディスプレイ高さ合計をミリメートル(mm)で調整することができます。
15. **保存**ボタンをクリックすると、ベゼル補正の設定を保存して**ビデオウォール**画面に戻ります。
または
キャンセルボタンをクリックして、変更内容を破棄して**ビデオウォール**画面に戻ります。

16. **ビデオウォール画面**で**保存**ボタンをクリックすると、ビデオウォール構成を保存して**ウォール画面**に戻ります。
または
キャンセルボタンをクリックして、変更内容を破棄して**ウォール画面**に戻ります。
17. **ウォール画面**が表示されます。
18. 新しいビデオウォール構成が**ウォール画面**に表示されます。
19. **ソース** (トランスミッタ)を選択してビデオウォールを有効にします。
20. 選択されたソースとレシーバの設定が強調表示されます。
 - ・ **黄色**:ビデオウォール構成の有効なデバイスを示します。
 - ・ **グレー**:レシーバが別のビデオウォール構成で現在使用中であることを示します。

注記:各ビデオウォールの横に表示されている矢印をクリックすると、ビデオウォール構成用の設定を変更したり、ビデオウォール構成を削除したりできます。

ビデオテアを調整する

1. **デバイス画面**で、画面下方のツールバーにある**ウォール**ボタンを選択します。
2. **ウォール画面**が表示されます。
3. ビデオウォール名の横の**矢印**アイコンを選択します。
4. **ビデオウォール画面**が表示されます。

5. **ビデオ テア補正** ボタンを選択します。
6. **ビデオ テア補正**画面が表示されます。
7. ビデオ テア ラインがディスプレイから移動するまで **スライダ**を調整します。
8. ビデオ テアを調整したら**終了** ボタンをクリックします。

技術サポート

StarTech.comの永久無料技術サポートは、当社が業界屈指のソリューションを提供するという企業理念において不可欠な部分を構成しています。お使いの製品についてヘルプが必要な場合は、www.startech.com/support までアクセスしてください。当社では、お客様をサポートするためにオンラインツール、マニュアル、ダウンロード可能資料をご用意しています。

ドライバやソフトウェアに関する最新情報は www.startech.com/downloads でご確認ください

保証に関する情報

本製品は2年間保証が付いています。

StarTech.comは、資材や製造工程での欠陥に起因する商品を、新品購入日から、記載されている期間保証します。この期間中、これら商品は修理のために返品されるか、当社の裁量にて相当品と交換いたします。保証で適用されるのは、部品代と人件費のみです。

StarTech.com は商品の誤用、乱雑な取り扱い、改造、その他通常の摩耗や破損に起因する欠陥や損傷に対して保証いたしかねます。

責任制限

StarTech.com Ltd. やStarTech.com USA LLP (またはその役員、幹部、従業員、または代理人) は、商品の使用に起因または関連するいかなる損害 (直接的、間接的、特別、懲罰的、偶発的、派生的、その他を問わず)、利益損失、事業機会損失、金銭的損失に対し、当該商品に対して支払われた金額を超えた一切の責任を負いかねます。

一部の州では、偶発的または派生的損害に対する免責または限定的保証を認めていません。これらの法律が適用される場合は、本書に記載される責任制限や免責規定が適用されない場合があります。

見つけにくい製品が簡単に見つかります。StarTech.comでは、これが企業理念です。それは、お客様へのお約束です。

StarTech.comは、お客様が必要とするあらゆる接続用パーツを取り揃えたワンストップショップです。最新技術からレガシー製品、そしてこれらの新旧デバイスを一緒に使うためのあらゆるパーツ。当社はおお客様のソリューションを接続するパーツを見つけるお手伝いをしています。

当社はおお客様が必要なパーツを見つけるのを助け、世界中どこでも素早く配送します。当社の技術アドバイザーまでご連絡いただくか、当社のウェブサイトまでアクセスしていただくだけで、お客様が必要としている製品をすぐに提示します。

StarTech.comが提供しているすべての製品に関する詳細な情報は www.startech.com までアクセスでご確認ください。ウェブサイトだけの便利なツールをお使いいただけます。

StarTech.comは接続や技術パーツのISO 9001認証メーカーです。StarTech.comは1985年に創立し、米国、カナダ、イギリス、台湾に拠点を構え、世界中の市場でサービスを提供しています。

レビューする

StarTech.comの製品について、製品の用途とセットアップなど、製品の優れた点や改善が必要な部分についてお客様のレビューを是非お聞かせください。

StarTech.com Ltd.

45 Artisans Cres.
London, Ontario
N5V 5E9
カナダ

StarTech.com LLP

2500 Creekside Pkwy.
Lockbourne, Ohio
43137
アメリカ

StarTech.com Ltd.

Unit B, Pinnacle 15
Gowerton Rd., Brackmills
Northampton
NN4 7BW
イギリス

FR: fr.startech.com

DE: de.startech.com

ES: es.startech.com

NL: nl.startech.com

IT: it.startech.com

JP: jp.startech.com